

28

# 高等学校 商業科実技 (問題)

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

- 1 下の資料1～3は、A物産株式会社の第7期（平成26年1月1日から平成26年12月31日まで）の総勘定元帳残高、期末修正事項、決算整理事項を示したものです。これらの資料をもとに、次の(1)～(3)に答えなさい。なお、資料1の(a)及び(b)の金額は推定すること。
- (1) 損益計算書を作成しなさい。
  - (2) 貸借対照表を作成しなさい。
  - (3) 繰越利益剰余金勘定に記入して締め切りなさい。

資料1〔総勘定元帳残高〕

〔単位：円〕

現金預金	1,060,000	受取手形	1,655,000	売掛金	2,095,000
売買目的有価証券	(a)	繰越商品	1,050,000	仮払金	1,000,000
仮払法人税等	900,000	未決算	3,200,000	建物	10,000,000
備品	3,000,000	土地	25,500,000	社債発行費	780,000
支払手形	655,000	買掛金	1,440,000	社債	9,600,000
貸倒引当金	60,000	建物減価償却 累計額	3,600,000	備品減価償却 累計額	1,080,000
退職給付引当金	4,250,000	資本金	(b)	資本準備金	2,100,000
利益準備金	1,250,000	別途積立金	900,000	繰越利益剰余金	350,000
売上	49,305,000	受取地代	75,000	受取配当金	125,000
仕入	37,615,000	給料	3,840,000	広告宣伝費	2,105,000
保険料	860,000	消耗品費	330,000		

受験番号		氏名	
------	--	----	--

## 資料2〔期末修正事項〕

- 1 仮払金¥1,000,000は、定年退職した従業員の退職金を支払った際に計上したものである。なお、当期中にこの従業員に対する退職給付費用は発生していない。
- 2 未決算は、地震によって建物に生じた損失分について、保険会社に請求したことにより生じたものである。決算にあたって、請求額のうち¥3,000,000が当座預金に振り込まれていることが判明した。残額は災害損失として処理することとした。
- 3 広告宣伝費の支払いのため振り出した小切手¥270,000が、金庫に保管されたまま未渡しとなっていることが判明した。

## 資料3〔決算整理事項〕

- 1 売上債権の期末残高に対して4%の貸倒引当金を差額補充法によって計上する。
- 2 期末商品棚卸高は次のとおりである。なお、商品評価損と棚卸減耗費は売上原価の内訳科目とする。

帳簿棚卸数量	1,250個	原 価	@¥1,000
実地棚卸数量	1,200個	正味売却価格	@¥ 950
- 3 売買目的有価証券の内訳は次のとおりである。決算にあたり時価で評価する。

	帳簿価額	時 価
B社株式	¥1,175,000	¥1,055,000
C社株式	¥2,175,000	¥2,470,000
D社社債	¥1,450,000	¥1,395,000
- 4 固定資産の減価償却を次のとおり行う。

建 物：定額法：耐用年数30年  
残存価額 取得原価の10%

備 品：定率法：償却率20%
- 5 社債（額面総額：¥10,000,000 期間：5年 利率年4.5% 利払日：3月と9月の末日の年2回）は、本年10月1日に額面¥100につき¥96で発行したものである。償却原価法（定額法）を適用して月割計算によって評価替えを行う。また、社債発行費はこの社債を発行した際に計上したものである。決算にあたって、繰延資産として処理することとし、社債の償還期間にわたって定額法（月割計算）により償却する。
- 6 地代の未収分¥15,000を計上する。
- 7 退職給付引当金への当期繰入額は¥230,000である。
- 8 保険料のうち¥720,000は平成26年8月1日に向こう3年分を支払ったものである。
- 9 社債利息の未払分を計上する。
- 10 消耗品の未消費分は¥65,500である。
- 11 税引前当期純利益の40%を法人税等に計上する。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1

(1)

損益計算書

自平成26年1月1日 至平成26年12月31日 [単位:円]

I	売上高					
II	売上原価					
1.	期首商品棚卸高	(	)			
2.	当期商品仕入高	(	)			
	合計	(	)			
3.	期末商品棚卸高	(	)			
		(	)			
4.	(	)	(	)		
5.	(	)	(	)		(
	(	)	(	)		)
III	販売費及び一般管理費					
1.	給料	(	)			
2.	広告宣伝費	(	)			
3.	保険料	(	)			
4.	消耗品費	(	)			
5.	貸倒引当金繰入	(	)			
6.	減価償却費	(	)			
7.	(	)	(	)		(
	(	)	(	)		)
IV	営業外収益					
1.	受取地代金	(	)			
2.	受取配当金	(	)			
3.	(	)	(	)		(
V	営業外費用					
1.	(	)	(	)		
2.	社債発行費償却	(	)			(
	(	)	(	)		)
VI	特別損失					
1.	(	)	(	)		(
	税引前当期純利益	(	)			)
	法人税等	(	)			)
	(	)	(	)		)



28 高等学校 商業科実技 (解答用紙)

(3枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

		純資産の部	
I	資本金		( )
II	資本剰余金		
	1. ( )		( )
III	利益剰余金		
	1. 利益準備金	( )	
	2. 別途積立金	( )	
	3. ( )	( )	( )
	純資産合計		<u>( )</u>
	負債及び純資産合計		<u>( )</u>

(3)

繰越利益剰余金			
3/25	利益準備金	120,000	1/1 ( ) ( )
"	未払配当金	1,200,000	12/31 損益 ( )
"	別途積立金	700,000	
12/31	次期繰越	( )	
		<u>( )</u>	<u>( )</u>